

2024年（令和6年）大発会理事長挨拶

2024年1月4日

皆様、2024年（令和6年）、明けましておめでとうございます。

日本では元旦に能登半島地震、2日には羽田空港での事故のニュースがございました。災害に遭われた皆様にお見舞いと謹んで哀悼の意を申し上げます。早く平穏な日常を取り戻すことを願っております。

本日は恒例の札幌証券取引所の大発会ということで大久保北海道財務局長をはじめ証券関係者の皆様に大勢お集りいただきまして感謝申し上げます。

また、朝早くから晴れ着姿でお集りいただきました証券レディの皆様、本当にありがとうございます。



「年始挨拶」小池理事長

本日はゲストとして日本ハムファイターズの清宮幸太郎選手をお迎えしております。後ほどご紹介させていただきます。

ご承知のようにコロナによる行動抑制がなくなり、経済活動が正常化され新年を迎えた訳でございますが、世界の動きでは、ウクライナ侵攻は現在も終結せず、イスラエルによるガザ侵攻が勃発し、年をまたいでも解決の糸口が見出せない状況となっております。

日本経済に目を転じますと、去年は資源・エネルギー関係の物価上昇が国民生活に大きな影響を与えこれに対応した賃金引上げが十

分でないこともあり、コストプッシュ・インフレの様相を呈し経済にとっては足かせとなっていた訳でございますけれど、金融政策の方向性は、昨年後半から様相が少し変わってきたように思われ、金融経済の好循環に続いてゆくことを大いに期待したいと思います。

北海道につきましてはやや楽観的な観測を持っております。G7など環境会議の開催により、北海道は洋上風力発電、太陽光発電、地熱など国内でも有数の再生可能エネルギーのポテンシャルがあることが認められ、北海道が日本のエネルギー基地になってゆく可能性を有しております。

また、産業のお米と言われている半導体につきましても、道内では土地や水の豊富な千歳市において世界最先端の半導体工場であるラピダスの建設工事が始まり、空港



「手締め」
日本証券業協会
北海道地区協会 伊藤会長

からクレーンがずらっと並んでいるところをご覧いただけます。これが数年後に稼働しますと世界の半導体の供給基地になってゆく可能性があります。このようにGXやDXで大変希望が持てる北海道が始まると思っております。

また、皆様には一番関係がある新NISAが始まります。今年最大のテーマになると思いますが貯蓄から投資へと、株式投資に興味を持っていただく年になると思います。札証では株主に目を向けた上場企業の経営、NISA株式に選ばれる上場企業の育成などに取

組んで参りたいと考えております。

もう一つ北海道で一番賑わっているのがエスコンフィールド（ボールパーク）で日本ハムファイターズが大変活躍しております。

本日はゲストに日本ハムファイターズの大黒柱として活躍されております清宮幸太郎選手にお越しいただきました。

去年はやや不完全燃焼ではなかったのかなと思っておりますので、今年はポテンシャルの高い清宮選手に期待しております。

本日は日本一を祈願して後ほど今年の抱負と意気込みの挨拶の後に、札証の鐘を打鐘して頂きます。

本日ご参集の皆様もそれぞれの今年の希望を込めつつ一緒に祈願いただければと思います。

そして、今年一年皆様方と一緒に北海道の経済に貢献できますよう頑張っていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

簡単ではございますが札幌証券取引所大発会にあたりましてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



札証の鐘「打鐘」

「今年は勝って、勝って、勝って、勝ちまくってシーズン終了時には日本一特需、優勝特需にしたいと思います。応援よろしく願います。」

北海道日本ハムファイターズ 清宮幸太郎 内野手
背番号「21」